

難しい問題を先送りしません

「難しい問題を先送りしません」とは、難題に直面した時、解決に向け、時宜にかなった道筋を必ず見出すという確固たる信念のもと行動することです。「難題」という言葉に及び腰になり、目の前に立ちはだかる大きな壁を前に思考を停止し、勝手に途方にくれることはもってのほか、やみくもに立ち向かって、出口には一向にたどり着くことはできません。何としても打ち砕いてみせるという気概を持って、その壁を詳細に調査・分析し、突破口となるところを見極め、あらゆる手法を駆使し、果敢に挑戦します。

「決断する市政」により実践した施策

- 右肩下がりの状態を打破することができずいたボートレース津の経営の姿勢を守りから攻めに転じ、経営状態をV字回復
- 国による地方公務員の給与に係る地方交付税の一方的な削減に対し、市民に負担を転嫁しないよう職員の給与を削減
- 合併後、地域の方々に遠い存在になったといわれていた総合支所の在り方の見直し

進化

先送りすることなく挑戦する課題

- 動き出さない救急車問題への対応(県営住宅跡地への新しい診療所の整備など)
- 小学校のプレハブ校舎の解消



南が丘小学校で使用しているプレハブ校舎

- 生活排水処理アクションプログラムにおいて、下水道計画区域外となった団地の共同汚水処理施設を津市へ帰属する仕組みの創設
- (仮称)津市空き家等の適正管理に関する条例の制定
- 平成時代の津のまちづくり
- きめ細やかな地域福祉サービスの提供

平成26年度 財政運営

一般会計予算は、4大プロジェクトをはじめとする各種事業を選択と集中により着実に進めることで、地域経済に好循環をもたらす「持続的な経済成長につなげる 地域活力創出予算」として編成し、平成25年度と比べ4.9%増の1,112億2,000万円としました。

■編成のポイント

まちづくりの基盤整備に戦略的かつ重点的に予算配分した結果、普通建設事業費が、前年度に比べ29.6%増の198億3,000万円となりました。また、消費税率・地方消費税率の引き上げに際し、臨時的な給付措置として実施される臨時福祉給付金6億円および、子育て世帯臨時特例給付金2億9,000万円を計上しました。予算規模は大きくなっているものの、合併特例事業債をはじめとする優位な地方債を選択し、財政調整基金の繰入金を平成25年度予算編成時に比べ2.4%減の70億9,000万円に抑制することによって、財政調整基金の残高を確保し、健全な財政運営を堅持しています。

市政を推進する市役所の在り方

私は、以前から市民の皆さまの自治意識の高さ、この市民風土こそが津市の強みであると感じていました。

自治意識の高い市民にふさわしい市役所とは、「即答・即応し実現する市役所」です。

このような市役所を実現するためには、職員が「市民の皆さまにお役に立てるように頑張ろう」という心持ちを抱き、それを行動規範としていくことが大切です。そこで、平成26年度は、職員の心持ちをどのように行動規範として形にしていくなかを職員自らが考える一年にします。

津市役所全職員が努力を積み重ね、志高く、高みをめざし、行政を展開していく。それが県都にふさわしい堂々とした行政の展開につながるものであり、それが私の考える津市役所の経営方針であり、市民の皆さまの期待です。

そして、これまで育まれてきた伝統、市民風土といった津市の強みを引き継ぎ、津市の潜在的な力や可能性を高めていくことが、未来への責任です。

この責任が果たせるよう、市役所あげて全力で取り組みます。